

消防団員等災害発生報告書

災害発生時の年齢を記入

団員歴の欄が不足する場合は、別紙に記入し添付すること。

民間協力者の場合、いずれかにチェックを入れること。

被災者	氏名	ふりがな 福島 太郎	性別 ☒ 男 ☐ 女	生年月日	昭和〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳)		
	住所	〇〇市〇〇町〇〇番地			職業	会社員	配偶者の有無 ☒ 有 ☐ 無
	種別	消防団員	階級 団員	協力者 ☐	☐ 消防作業従事者 ☐ 応急措置従事者	☐ 水防作業従事者 ☐ 救急業務協力者	
	団員歴	階級及び任命期間 平成30年 4月 1日 ～ 現在に至る	階級及び任命期間 年 月 日 ～ 年 月 日	階級及び任命期間 年 月 日 ～ 年 月 日			
	扶養親族の状況 (氏名、ふりがな、続柄、生年月日、年齢)						
	ふくしま はなこ 福島 花子	妻	昭和〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇歳			
	ふくしま いちろう 福島 一郎	子	平成〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇歳			災害発生時の年齢を記入
	ふくしま じろう 福島 二郎	子	平成〇〇年〇〇月〇〇日	〇〇歳			
事故の状況	発生日時	令和〇年 〇月 〇〇日			午後 7時 30分 頃		
	発生場所	〇〇市〇〇町〇〇〇地内					
	※ 扶養親族の範囲は、災害発生日において他に生計を維持するみちがなく、主として被災団員等の扶養を受けていた次に掲げる者 ① 配偶者 ② 22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子、孫、弟・妹 ③ 60歳以上の父母、祖父母 ④ 重度心身障害者						
	令和〇年〇月〇〇日 (日) に〇〇市〇〇町〇〇〇地内で発生した建物火災に出動し、水利から火点近くまでホースを延長していたところ、途中の地面にくばみがあり、夜間のため足元が暗かったことから、つまずいて転倒し、右膝を負傷した。 〇月〇〇日に〇〇病院で診察を受け、右膝内側側副靱帯損傷と診断された。 ※ どのような行為中に (火災消火、訓練中等) どのような動作をし (ホースを担いで走っている最中 等) どのように怪我をしたか (捻って、つまずいて 等) をできるだけ詳細に記入してください。						
火災発生時刻:		〇〇時〇〇分	消火隊到着時刻:		〇〇時〇〇分	鎮火時刻: 〇〇時〇〇分	
傷病名	右膝内側側副靱帯損傷 (入院 ☐ 通院 <input 3"="" checked="" type="radio/>)</td><td>全治見込期間</td><td>医療機関等名称、所在地、電話番号</td><td colspan="/> 〇〇病院 〇〇市〇〇町〇〇番地 〇〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇						
市町村消防団員等公務災害補償条例施行規則第3条の規定に基づき、上記のとおり報告します。 令和〇年 〇月 〇〇日 診断書記載の傷病名を記入 〇〇市長 〇〇 〇〇 福島県市町村総合事務組合管理者							

※ 認定	☐ 公務上 ☐ 公務外	年 月 日認定	年 月 日通知
------	--	---------	---------